

令和5年度採用長野県教員採用選考の変更点（案）

義務教育課
特別支援教育課

1 一次・二次選考日程の見直し

○長野県で教員として働きたい者の受験機会を確保し、採用内定時期を早める。

一次選考 7月第2週→第1週 一次選考結果発表 8月上旬→7月下旬

二次選考 8月第3週→第2週 採用予定者発表 10月上旬→9月下旬

・試験項目の変更はせず、一次選考は2日間で実施

2 県内小・中学校で学級担任経験のある講師を対象に

小学校教諭を受験する場合の一次選考免除

○学級担任を一定期間経験したことを評価し、現場指導と並行した受験に対する負担を軽減し、実績のある即戦力となる講師の受験を促す。

○次のいずれにも該当する者が対象

- ・県内の小・中学校で直近2年間の学級担任（特別支援学級を含む）経験がある
- ・選考年度も県内の小・中学校で学級担任を務めている
- ・小学校の学級担任の経験がある

3 特別選考「大学推薦選考」の拡充

○大学、大学院又は教職大学院において、心身の健康、学業成績等に優れた学生の推薦枠を拡大し、優秀な教員を確保する。

○条件の緩和

【現行】

小学校・中学校・特別支援学校の教諭志願者は、

- ・小・中の免許を有している者（取得見込を含む）
- ・中免は、2教科以上の免許を有している者（取得見込を含む）

（国・社）
（数・理・英）
+
（音・美）
（体・技・家）

- ・一次選考の一般教養、小論文、集団面接は免除、専門教科は二次選考の参考扱い、適性検査は実施

【変更】

小学校・中学校・特別支援学校の教諭志願者は、

- ・小・中の免許を有している者（取得見込を含む）
- ・1種免許、専修免許、中免は複数免許が望ましい

- ・一次選考の一般教養、小論文、集団面接は免除、専門教科は二次選考の参考扱い、適性検査は実施

○指定校の拡大

- ・小学校1種及び中学校教諭免許状が取得できる大学等で、直近3か年の大学別受験者数及び合格者数の実績が一定数ある大学等を指定して推薦を依頼する。

令和5年度採用長野県教員採用選考の変更点（案）

高校教育課

1 一次・二次選考日程の見直し

- 長野県で教員として働きたい者の受験機会を確保し、採用内定時期を早める。
一次選考 7月第2週 → 第1週 一次選考結果発表 8月上旬 → 7月下旬
二次選考後、採用予定者発表 10月上旬 → 9月下旬

2 一次選考を1日で実施

- 県外および県内遠隔の受験者の移動負担を軽減する。
- 「集団面接」を二次選考で行うことで、「個人面接」「集団面接」を同日に実施し、より多角的に評価する。
- ・一次選考は「筆記試験（一般・専門）」「小論文」「適性検査」「実技」を行う。

【現行】	【変更】
<p>○一次選考</p> <p>・1日目</p> <p>1 「一般教養筆記検査」</p> <p>2 「小論文」</p> <p>3 「適性検査1 (MMPI)」</p> <p>4 「専門科目筆記検査」</p> <p>5 「専門科目実技検査」(体育・芸術)</p> <p>・2日目</p> <p>1 「集団面接」</p> <p>2 「適性検査2 (クペリソ)」</p> <p>○二次選考</p> <p>「個人面接1」</p> <p>「個人面接2 (模擬授業含む)」</p>	<p>○一次選考</p> <p>1 「一般教養筆記検査」</p> <p>2 「小論文」</p> <p>3 「適性検査1 (MMPI)」</p> <p>4 「適性検査2 (クペリソ)」</p> <p>5 「専門科目筆記検査」</p> <p>6 「専門科目実技検査」(体育・芸術)</p> <p>○二次選考</p> <p>「集団面接」</p> <p>「個人面接1」</p> <p>「個人面接2 (模擬授業含む)」</p>